

第66回 読売教育賞表彰式



11/17(金) 第66回読売教育賞 最優秀賞受賞



公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団に事務局を置き、当財団専務理事の照山龍治が委員長を務める「地域の色・自分の色」実行委員会(以下、「地域の色・自分の色」)が、第66回読売教育賞 最優秀賞(美術教育部門)を受賞いたしました。

平成29年11月17日(金)よみうり大手町小ホール(読売新聞東京本社5階)にて、高円宮妃久子殿下ご臨席の下、表彰式が執り行われました。読売教育賞は、日本において最高と言われる教育の賞で、大分県で受賞したのは36年ぶり、美術教育部門では初めてのことです。表彰式では、主催者である読売新聞グループ本社の取締役最高顧問 老川 祥一様が、「地域の色・自分の色」の取り組みに対し「選考委員会の先生方が大変感銘を受けたという風に伺っている。」とのお言葉をくださる場面もございました。

日頃からご支援、ご協力をいただいている皆様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

「地域の色・自分の色」実行委員会 委員長 照山 龍治
(公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団専務理事)



▲妃殿下ご臨席の下、取締役編集局長の柴田様より賞を受け取る



▶妃殿下、横浜国立大学名誉教授の宮坂様と



11/29(水)~12/1(金) 第65回全国博物館大会開催

第65回全国博物館大会が11月29日(水)、30日(木)、12月1日(金)に、iichiko総合文化センター(iichiko音の泉ホールなど)、大分県立美術館を会場として開催されました。大会テーマは「今、博物館に求められていること〜持続可能な社会における役割」。公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 佐藤禎一理事長(元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使)の基調講演をはじめ、社会に貢献する博物館の在り方について議論するフォーラムや、「博物館における人材育成〜学校教育との連携を例に〜」と題したシンポジウム、「芸術文化による観光振興・地域づくり」「求められる新たな学芸員像」「文化財の防災及び災害復旧対策」をテーマにした分科会が開催されました。大会には、全国の公設や私設の美術館、歴史資料館、科学館などの関係者約400人が参加しました。

【主催】公益財団法人日本博物館協会

【共催】大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、大分県博物館協議会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団

【後援】文部科学省

【協賛】三和酒類株式会社 他



9/28(木)~30(土) The Best in Heritage 2017

9月28日~30日にクロアチアのドブロブニクで開催されたThe Best in Heritage 2017「至宝の継承会議2017」の今年の日本代表として大分県立美術館が選出され、館を管理運営する公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団の佐藤禎一理事長が、美術館と音楽ホールが一体となった芸術文化ゾーンにおける、大分県立美術館のコンセプトや活動方針、地域や教育現場と連携した独自の教育普及活動などの取り組みを発表しました。

The Best in Heritageと日本代表館の選出について

クロアチア政府がヨーロッパ文化の遺産賞やICOM(International Council of Museums;国際博物館会議)と連携し活動する顕彰機関。各国で何らかの受賞をしたミュージアムや文化遺産等の取り組みを紹介し、表彰するもの。今回で17回目を数えます。対象はヨーロッパが主体だが、日本からはICOM日本委員会が窓口となっており、2014年からエントリーを開始しました。今年度は選出検討会議の結果、「2015年度JIA日本建築大賞」を受賞した大分県立美術館が日本代表に選ばれました。The Best in Heritageの各国・地域の代表館は合計28施設です。